

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム阿蔵の森

(ユニット名) A

記入者(管理者)  
氏名 宮田 昭

評価完了日 平成 19 年 12 月 7 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月31日

【評価実施概要】

事業所番号	3890700036		
法人名	NPO法人 アクティブボランティアセンター 阿蔵の森		
事業所名	グループホーム阿蔵の森		
所在地	愛媛県大洲市阿蔵甲1961番地4 (電話) 0893-59-0777		
管理者	宮田 昭		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年12月18日	評価確定日	平成20年1月31日

【情報提供票より】 (平成19年12月7日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成19年2月10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	12人, 非常勤 4人, 常勤換算 14.3人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,050 円		
(3)利用者の概要 (平成19年12月7日現在)			
利用者人数	15 名	男性 1 名	女性 14 名
要介護1	5 名	要介護2	2 名
要介護3	6 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.2 歳	最低 77 歳	最高 94 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>居室には、ベット、整理ダンス、ロッカーが準備されており、洗面台も設置されていた。植木鉢のお花やお位牌を持ち込まれている方もおられる。又、手押し車や杖等、利用者個々が馴染みのものを使用されていた。</p> <p>持病のある利用者の方には、かかりつけ病院の栄養士より指導を受けておられる。食事を残されたような場合は、おやつ等で栄養を補えるよう支援されている。</p> <p>事業所では、ゆっくり時間をかけて、その人の希望されることを支援していけるよう取り組まれている。利用者の希望で、隣接のデイサービスに遊びに行かれることもある。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・開設から始めてサービス評価に取り組まれた。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・職員で評価項目を分けて自己評価に取り組み、ユニットごとに話し合い、ユニット責任者と管理者でまとめられた。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・会議では、利用者の状況や行事の内容についての報告を行なっておられる。地域の方から地域情報もいただけ、行事参加等も実現されている。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・外出や日々の過ごし方等についてご家族から意見をいただき、職員間で話し合い、支援につなげられるよう努めておられる。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・近所の方が訪れ、利用者とお茶を飲みながらおしゃべりを楽しまれることもある。又、近所の小学生も遊びに来ることがある。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			「あたたかい手」「明るい笑顔」「やすらぎの空間」という理念に基に、利用者がいつも明るくやすらぎを感じて頂けるように話し合っている。		
			(外部評価)		
			利用者一人ひとりがやすらぎを感じることができるような支援に向けて、理念を作っておられる。		「地域密着型サービス」事業所として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、この機会に話し合ってみてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			玄関に入るとすぐ理念がわかるように掲示している。		
			(外部評価)		
			理念を掲示し、職員は確認されている。		管理者は、職員と理念を共有していけるような仕組み作りを検討していきたいと考えておられた。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			広報誌で日々の暮らし、行事等を3ヶ月に1回発行している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価)  散歩に出かけた時など挨拶を交わしている。近所の方がお茶を飲みこられたりする。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価)  運営推進会議を活用してホームの啓発活動を行い公民館からイベント等の誘いを受けたりしている。  (外部評価)  近所の方が訪れ、利用者とお茶を飲みながらおしゃべりを楽しまれることもある。又、近所の小学生も遊びに来ることがある。		さらに、地域の方達と話し合える運営推進会議時等で、事業所のことをさらに知っていただけるよう、取り組んでいきたいと話しておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価)  ゴミ拾いのボランティア活動を1回行ったのみである。今後も続けていくように計画中である。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価)  今回が初めてなので、外部評価を活かして今後につなげたい。  (外部評価)  職員で評価項目を分けて自己評価に取り組み、ユニットごとに話し合い、ユニット責任者と管理者でまとめられた。		サービス評価一連の流れを、さらに貴事業所の質の向上に活かしていけるような取り組みの工夫が期待される。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
				2ヶ月に1回行っている。	
			(外部評価)		
					今後、会議でサービス評価の結果をきっかけに、ご意見をいただけるよう働きかけられたり、又、ご家族の出席をいただけるような工夫も考えておられる。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
				定期的に連絡会・勉強会が開かれ、市町村と連携をとり質の向上に努めている。	
			(外部評価)		
					市の主催するグループホーム連絡会に出席されている。利用者の支援について困ったような時には市に相談されている。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
				入居者の中で一人利用されている。	
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
				市の職員に相談にのってもらっている。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明をし、納得された上で捺印・サインをしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情があればミーティング等で話し合いをして改善している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 定期的ではないが、家族への連絡ノートを作り、担当が必要と思うときに連絡をしている。		
			(外部評価) ご本人の様子について「連絡ノート」を用いて、随時、ご家族に報告されている。病院受診の際には、受診前、受診後に相談や報告をされている。		ご家族が知り得たいような情報の報告となっているか、この機会に点検されてみてはどうだろうか。利用者個別の情報、又、事業所全体の取り組み等を定期的に分かるような報告について、工夫を重ねていけることが期待される。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情があれば、月一回の全体会で話し合いをし、検討している。		
			(外部評価) 外出や日々の過ごし方等について、ご家族から意見をいただき、職員間で話し合い、支援につなげられるよう努めておられる。		さらに、ご家族と相談されたり、報告される等、相互で関係を築きながら協力しあい、ご本人を支えていけるような取り組みが期待される。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎週1回参加できる職員が集まり、ミーティングを開き何かあったこと、気づいたことを話し合い働きやすい職場作りをしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) できていない。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) まだ、開設したばかりで職員が職場に慣れるまで、固定して入居者をケアしている。		
			(外部評価)		
			現在、離職はなく、利用者と職員は馴染みの関係となっている。		今後、すべての利用者の把握等も踏まえ、職員の質の向上のためにも、ユニット間での職員の移動等も検討されていた。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 講習会・講演会・勉強会に参加するようにしている。		
			(外部評価)		
			職員は、自主的に研修に参加し、各ユニットで行なわれるミーティング時に報告をされている。		今後、外部研修にも積極的に参加できるよう、運営者とも話し合っていくことを検討されていた。又、事業所内でも、すべての職員がレベルアップできるような仕組み作りも考えていきたいと話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上                      運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>2ヶ月に1回、運営推進会議を実施している。他施設である行事等お誘いがあれば参加して交流を図っている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>運営推進会議時に、地域の他のグループホームと相互で出席されている。他事業所より芋掘り等に誘われ、利用者・職員とも交流し、楽しまれた。</p>		<p>さらに、今後もネットワークを広げ、運営についての情報交換等、交流から事業所の質の向上を目指していかれることが期待される。</p>
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み                      運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>管理者と職員同士がお互いに話し合い、相談しあうことで、ストレスを解消している。</p>		
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み                      運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>個々の能力や性格を理解し、その人の力を十分に発揮できるようにしている。</p>		
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係                      相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>入居者の生活歴や性格を把握し、その方に合ったケアを心がけている。</p>		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 来訪する家族とは十分話し合い、来訪できない家族には意見書を書いて、郵送している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 他のサービス利用希望はまだない。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 体験入居・入居前に見学に来ていただくように工夫している。 (外部評価) 入居前にケアマネージャーとともに見学いただいたり、入居後は、職員がご本人のそばでお話をされる等、不安が少なくなるよう支援されている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 同じ目線になり、一緒に座ってお茶を飲みながらゆっくりとお話できるように努めている。 (外部評価) 利用者が、職員に「手伝おうか」と声をかけてくれたり、包丁の使い方等を教えてくださることもある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の希望に沿うようにしており、また自宅にいるような心地よい環境を作るように努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) まだ、開設したばかりなので、今後希望に沿うようにしたい。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入居者の方が家族の声が聞きたいと訴えがあれば、家族に連絡し話してもらっている。また、会って話したいと訴えられた場合には会って話してもらえるように対応している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 一人ひとりの人格を尊重し同じ視線になって言葉かけや対応を行っている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 医療機関・家族と情報提供や話し合いが出来るよう連携をとっている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			入居者の生活リズムを大切にし、一人ひとりのペースに合わせ、ゆっくりと時間をかけ支援している。		
			(外部評価)		
			入居時、ご家族に、これまでの暮らし方や希望等について聞き取っておられる。又、ご本人からも思いや希望を聞き取り、意思を表し難いような方には、表情等からも汲み取れるよう努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			事前調査によって得た情報と毎日のコミュニケーションをとることによって入居者の生活習慣の把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			個人の日々の生活状況や健康管理面の状況が明細かつ分かりやすく記録している。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			家族と話し合い、生活歴やライフスタイルを考慮して、入居者一人ひとりが安心して生活できるよう介護計画を立てている。		
			(外部評価)		
			ご本人、ご家族と話し合い、ご本人がより良く暮らしていけるように計画を立てておられる。		今後、ご本人、ご家族との話し合いの充実を図り、職員の気付きを大切にし、又、かかりつけ医等の意見もつかいがいながら計画を作成していきたいと話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			本人の生活状況の変化に対応して介護計画の見直しを行っている。		
			(外部評価)		
			介護計画は3ヶ月ごとの見直しとなっているが、時に遅れがちになる時がある。		介護計画の見直しから、ずれのないケアを提供できるよう取り組まれることが期待される。又、介護計画を日々のケアにつなげていけるよう、記録等の工夫についても話し合ってみてはどうだろうか。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個々の生活状況や健康面の状況を明確に記録し、その情報をミーティングで共有することによって介護計画の見直しに活かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			入居者が買い物に行きたいと訴えがあれば一緒に行き買い物を楽しまれている。		
			(外部評価)		
			利用者の希望に沿って買い物に出かけておられる。病院に通われる際に、介護タクシーを利用される方もおられる。ご家族の都合に合わせて、職員が病院受診時に同行されることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 避難訓練を行う際、消防署に協力をえている。今後、連携をとり支援していく。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 入居者の方で週二回透析に、介護タクシーを利用している。入居者も満足しており、情報交換もしている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 今後、活用していきたいと思っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居者が以前から利用されている病院に受診してもらうようにしているが、家族が事業所に任せる場合は事業所が提携している、協力病院を活用している。24時間体制で対応してもらっている。また、二週間に一度は往診にも来られている。 (外部評価) 利用者、ご家族の希望に沿って病院を受診できるよう支援されており、協力医にいつでも相談でき、往診にも来てもらえるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 心身の変化や異常発生時、気軽に相談できる医師を確保している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 内科医が、週二回往診に来られている。他にも、外科医、歯科医ともいつでも相談出来る体制を組んでいる。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 相談員と連携をとり、情報交換を行っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) これから、検討していく。  (外部評価) 利用者の状態の変化時に、ご家族等に相談されている。		重度化、終末期の在り方について、ご本人の思いやご家族の希望等を聞き取るような機会作りが期待される。又、事業所でも、どのような方針で取り組んでいくのかということを示されてはどうだろうか。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 来ること、出来ないことを見極める為のシートを作成中であり、今後より良い支援に取り組めるよう、準備を行っている。まだ、かかりつけ医と話せる段階には至っていない。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 退去時には、家族と十分な話し合いを持った上で、納得のいく転居先へ移れるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 職員は入居者一人ひとりの生活歴や、性格を把握し、その人の喜びと尊厳を最大限に尊重して、優しくさりげないケアにあたるよう努めている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>			<p>(自己評価) 入浴、食事、外出等を行う際には、ご本人の希望を聞いたり、説明を行うことで、納得をして頂けるよう努めている。</p>		<p>利用者個々のプライバシーをどのように守っていくかということについて、話し合われてみてほしい。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 入居者の生活リズムを大切に、一人ひとりのペースに合わせ、ゆっくりと時間をかけ支援している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>事業所では、ゆっくり時間をかけて、その人の希望されることを支援していけるよう取り組まれている。利用者の希望で隣接のサービスに遊びに行かれることもある。</p>					

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価)  美容師が来訪され、利用している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  食事介助に必要な入居者には、職員が付き添い支援をおこない、全員で楽しく食事をしている。  (外部評価)  食事の支度やテーブル拭き等、利用者一人ひとりの出来ることを職員と一緒にされている。お肉の嫌いな人には、肉は1切れにして魚に代替されていた。職員も一緒に食事をされながらおかわりをすすめられたり、介助等をされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価)  本人が望むおやつ等を把握して、嫌いなものは形を変え全員でおいしく食べられるようにしている。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価)  個々の排泄パターンを把握した上で、できる限りパンツを使用する支援を行っている。トイレに誘導をする場合にはプライバシーに配慮して支援を行っている。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			個々の希望時間に合わせて、支援している。嫌がる入居者さんには最低でも三日に一回は入浴してもらうよう支援している。		
			(外部評価)		
			利用者の希望をうかがいながら入浴をすすめておられる。入浴を嫌がられる方には、職員がゆっくりとお話をされながら雰囲気作りをされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			個々の睡眠パターンを把握して、日中の活動や散歩・レクリエーション等で身体を動かして頂き、安眠できるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			洗濯物たたみ、調理の手伝い、下膳、掃除等、入居者の好みに合わせて活動の場所作りを行っている。		
			(外部評価)		
			畑で野菜作りをされる方や「遊びに行こうや」と職員に声をかけ、散歩に出かける方もうかがえた。隣接のサービスでカラオケを楽しまれることもある。習字をされたり、新聞を読まれる方もおられた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族の方の了解を得て、施設が金銭管理をしている。入居者にも買い物に出かける際には、その能力に合わせて極力自分でお金を支払ってもらっている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩に出かけたいと要望があれば、他の入居者の方も誘い、職員も一緒に行き、また、買い物にも同行したりと、気分転換できるよう支援している。		
			(外部評価)		
			散歩や買い物に出かけられたり、菖蒲祭り、七夕の笹飾り、花火大会等も楽しみに出かけておられる。		今後、食事の買出しにも利用者が行けるよう、声をかけていきたいと話しておられた。利用者個々の希望等も聞きながら、日常的に外出を楽しめる機会を増やしていけることが期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			行事として花見に行くなど、入居者の方皆さんと外出し、その時期の季節感を感じていただけるよう、また思い出作りなどを行い支援している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話番号はスタッフが押し、話は本人がしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会時間は特別には設けていないため、いつでも自由に訪問できるようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  基本的には理解している。身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  入居者の中に自分の居室に、他者が入るのを嫌がり、本人希望で鍵をかけて欲しいと言われる方がおられる。  (外部評価)  管理者、職員は鍵を掛けないケアを実践されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  夜間二時間おきに巡視を行っている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  誤飲の危険性のある方に対しては、目に付きにくい場所に置くなど対処を行っているが使用時には声かけ、見守りして対応し危険を防ぐよう努めている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  一人ひとりの状態の把握に努めている。事故がおきないように、スタッフ間で連携を取るようになっている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  定期的には、行えていない。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  定期的に、避難訓練を行っている。  (外部評価)  年2回、昼間と夜間想定 of 避難訓練を行っている。避難の際には、利用者をおんぶして避難する訓練も行っておられた。		今後、運営推進会議時、地域の人達に災害時の協力依頼をしていきたいと話されていた。今後の協力体制の充実が期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価)  体調の変化があれば、家族に連絡をし、家族にも面会に来てもらい現状を知ってもらう。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  体調の変化があれば、家族に連絡をし、家族にも面会に来てもらい現状を知ってもらう。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 病院より薬の説明書をもらい、みんなが把握できるように、カードックスに挟んでいる。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維を多く含んだ食品を摂取して頂くようにしている。牛乳、乳製品をおやつに出すようにしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の口腔ケア、チェック表に記録して対応している。自力でうがいしたり義歯を磨いてもらうことを促しながら、出来ないところは介助しゆっくり関わりながら行うように心がけている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食材によっては、キザミにしたり食べやすい大きさにする等しながら、個別に対応し食事量に配慮している。お茶を好まない方には、スポーツドリンク、野菜ジュース等で水分量を確保している。		
			(外部評価) 持病のある利用者の方には、かかりつけ病院の栄養士より指導を受けておられる。食事を残されたような場合は、おやつ等で栄養を補えるよう支援されている。		水分確保に努めておられるが、便秘がちな方も多いようである。この機会に水分摂取や栄養のことについて、利用者一人ひとりの状態等と合わせながら支援できるよう、職員で話し合ってみてはろうだろうか。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 今後、流行すると思われる、インフルエンザに対しては、職員全員が予防接種を受けるようにしている。また、手すり、手に触れるところは塩素系で消毒している。手洗い、うがいの励行に努めている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・布巾、台拭き等はこまめに取り替えるようにし、塩素で消毒、衛生管理に努めている。 ・食材は魚、肉はその日の朝、野菜等は前日に購入し、安全な食材管理に努めている。</p>		
(1)居心地のよい環境づくり					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>花壇には四季折々の花を植えている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>廊下には観葉植物をおいたり、食堂には季節の花を飾ったり、壁には季節ごとに飾り付けをしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>季節の装飾や観葉植物、季節のお花が飾られていた。</p>		<p>さらに、職員の声の大きさ等についても考えてみる機会とされてほしい。共同生活の場の雰囲気が利用者個々にとってさらに心地よいものとなるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。さらに、畳の間の活用方法についても工夫されてみてはどうだろうか。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>コミュニケーションの場として、和室にテーブルを準備している。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居者の方が使い慣れたものを持って来られている。		
			(外部評価)		
			ベット、整理ダンス、ロッカーが準備されており、洗面台も設置されていた。植木鉢のお花やお位牌を持ち込まれている方もおられる。又、手押し車や杖等、利用者個々が馴染みのものを使用されていた。		利用者一人ひとりにとって、居室が居心地の良い空間となっているかということについて、話し合ってみる機会とされてはどうか。ご本人の希望等も聞き、ご家族とも相談されながら、しつらえの工夫を重ねていかれることが期待される。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			定期的窓を開けたり、温度調節をして入居者の方の状態に合わせた対応をしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			身の回りの環境整備に努めている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			入居者の方に出来ることはして頂き、出来ないところは介助して出来るように支援している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			日光浴・散歩が出来る環境をつくっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	・家族との会話の中。 ・入居者と信頼関係を築きながら生活しているなかで。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	午前・午後のお茶の時間に一緒にお茶しながら会話を楽しんでいる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事の時間に「今は、食べたくない、もう少し後にしたい。」といった、訴えがあればその様に対応している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	生活している中で笑顔がたくさん見られていきいる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外に出るときは職員と一緒に出ている。(日光浴・散歩・ドライブ等行っている。)
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調変化には、十分注意しています。変化があれば、24時間体制で往診に来てもらえる体制をとっています。周囲の環境整備に努め、安全に過ごしてもらえるように支援しています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入浴拒否・食事拒否などの時に無理強いせず、随時声かけ、本人が気が向いたときにしてもうよう、対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	電話連絡をまめにとって、来訪された時に話しを聞き対応している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない	地域の方の協力で、芋掘りに出かけたり、秋祭りには地域の青年団が来られ、獅子舞され入居者の方々も喜ばれる。近所のお年寄りの方が、たまにお茶を飲みに来られ入居者の方と話されたりしている。



項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	開設したばかりなので、徐々に交流を増やしています。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が ① 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員同士のコミュニケーションもとれて、協力し合って、生き活きと働けている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	満足されているかどうかは、定かではないが出来る限りの対応をしている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	何かあれば、電話連絡をこまめに行っている。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・職員が一丸となって、入居者の方が日々明るく笑顔のある生活ができるよう努力している。  
 ・入居者の方のレベルが下がらないように、自力で出来ることはしてもらい、自分で出来ることを増やしていった。  
 ・山のふもとにあり、立地環境がよく季節感を感じ日光浴、散歩が気持ちよくできる。